

ジェンダー平等

上田染谷丘高等学校 1年 太巻美乃



この課題に関するSDGsの番号

5 ジェンダー平等を
実現しよう



👉の形、よく見たら、♂と♀が
組み合わさっているんだと、
今初めて気づいた

テーマ設定の理由



・テレビとかで、政府のお偉いさん方がこの問題について考えていたり、偶に不適切な発言をして問題になってたから

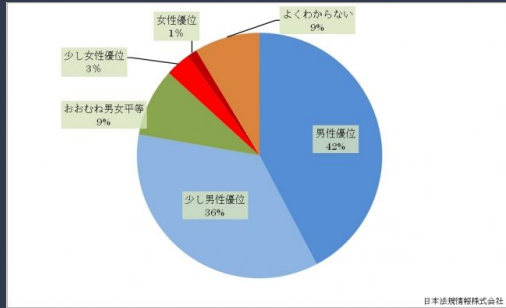
・中学校の授業である文章読み、自分がこの職業は、男性がやるものだと思い込んでいてままと引っかかって変な解釈をしたから

・「女の子なんだから、足閉じてなさい」って言われたから



現状

グラフ1



グラフ2

2019年の男女平等ランキング

1 (1)	アイスランド
2 (2)	ノルウェー
3 (4)	フィンランド
4 (3)	スウェーデン
5 (5)	ニカラグア
6 (7)	ニュージーランド
7 (9)	アイルランド
8 (29)	スペイン
9 (6)	ルワンダ
10 (14)	ドイツ
53 (51)	米国
75 (73)	タイ
106 (103)	中国
108 (115)	韓国
112 (108)	インド
121 (110)	日本

(注) カッコ内は前年順位

・グラフのように女性の多くが男女格差を感じたことがある(グラフ1)

・普通の人とは違う恋愛の仕方に批判的な目を向けられる

・2019年度における世界の男女平等ランキングにおいて、日本は121位というとても低い位置にいる(北欧の国が上位を占めている)(グラフ2)

引用

<https://dime.jp/genre/363172/>

引用

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO53440060X11C19A2>

課題

・一部のみに、結婚することだけでも、特別な許可が必要だということ



・女性はこういう仕事をするでしょ、男性はこういう仕事をするんでしょという印象が強くあり、男女間賃金格差が改善していない



解決策

- ・人間は元々持っている規定の枠組みから外れたものを異物として扱ってしまいうので、もっとそっち系の結婚などの理解を広げるために教育に組み込んだりしたほうがいい。
- ・女性と男性で賃金が違ったり、職業が決めつけられることのないように、大人から色々な選択肢を与えればいい。

10代からの提言

- ・世界で、一人もジェンダーのことで悲しむ人がいなくなるように、小さい頃から必要な教育をしたり、大人からの助言が必要だ。
- ・インターネットが普及している今だからこそそういうものを活用して、職場の本当の声を聞いて男女の賃金の格差などを解決していくことが大切だ。
- ・こういうことに、積極的にSNSを使用していこう。
- ・子供は政治社会のことについてなんの発言も18歳になるまではできないから、投票とは違う感じで純粋な子供の意見を何らかの形で聞いたほうがいい。

感想

- ・ジェンダーのことについて自分が考えていることを書いて良かった。
- ・調べてみると、思った以上に男女の賃金格差が大きいことがわかり驚いた。
- ・一回でもこういった感じで考えてみる機会があるのはいいなと思った。